奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

令和三年度十月　入賞句一覧

投句数　五百九十三句

長野　美代子　選

特選

老いゆくも新しき日日秋日和　　大垣市　澤井　国造

朝目覚めれば今日と云う新しい日が待っています。繰返し繰返しと来て老いることも知らずに暮らして参りました。自分の年齢に今更ながらびっくりしています。老いても今日と云う新しい日に出会え心豊かになり人生とは素晴らしいですね。今日と云う日を大切にしたいです。

鈍行の窓埋め尽くす鰯雲　　大垣市　髙木　歌佐

車窓いっぱいの鰯雲と云うだけで、秋の澄んだ空いっぱいの鰯雲が浮んで参ります。たも網がとどけば掬いたいです。さわやかな心澄み渡るような美しい俳句ですね。大好きです。

空蝉を机に宿題せかされて　　大垣市　岡田　あや子

子供の頃を思い出されます。何も云わない空蝉ですが何かせきたてられてる様で落着かないのですね。子供の心情が読み取れますね。とても爽やかな俳句です。

秀逸

子を連れて連れられていて天高し　　東京都北区　菱沼　多美子

天覆ふ阿修羅のごとき夕立雲　　岐阜市　田中　淳子

竿先に背鰭光りて鮎躍る　　大垣市　石垣　珠泉

茹で笊のままのもてなし衣被　　大垣市　村田　通夫

大漁の旗振る人や鰯雲　　京都府京都市　八田　弥須子

息切らし差し出す子の手草の花　　大垣市　大杉　すみゑ

砂時計ゆくら良夜の時刻む　　大垣市　森　茂寿

ひねもすを遊びあそばれ稲雀　　瑞穂市　谷　牛歩

豊の秋風の喜ぶ千枚田　　神奈川県相模原市　中村　光枝

つるに蔓捲き天上へ牽牛花　　岐阜市　堀江　美州

入選

山霧や木々のため息さらに濃く	大垣市	立川　昌子
朝捥ぎの茄子にきのふの余熱あり	不破郡垂井町	竹嶋　富美子
秋彼岸僧衣の裾に今朝の風	大垣市	早苫　千恵子
名月に見惚れし庭も静かなり	愛知県額田郡	平松　京師
雨後の風稲穂ほんのり色はじむ	大垣市	岩田　千鶴
白日傘たたむ手元の日の匂い	大垣市	大杉　すみゑ
少しだけ風より遅れ木の実落つ	大垣市	鶴田　信子
難しき口上は後新走	大垣市	早崎　美弥子
高々と少年受手稲架を掛け	大垣市	臼井　秀子
駅舎なき駅ひとつ置く秋祭	大垣市	佐藤　すみ子
早稲の穂に乗りて雀の弾みけり	大垣市	末守　節子
秋燕水面たたきて宙返り	大垣市	坪井　克枝
閑かさやひぐらし谷の深きまで	不破郡垂井町	川瀬　慶泉
悲しげに鳴くな蜩自粛の日	大垣市	多和田　一徳
刈るを待つ黄金の海に満つる月	山梨県北杜市	たなか　ゆうじ
ほろ酔ふてしばし頬づえ冷やし酒	揖斐郡揖斐川町	粟野　みねお
かがむ腰なれど真っ直ぐ種を蒔く	滋賀県甲賀市	奥村　僚一
枯野道「先生」と呼ぶ子らがいて	兵庫県西宮市	覘井　林
禅寺に侘茶を待てり竹の春	岐阜市	辻　雅宏
遠雷やクレーンの首動きづめ	大垣市	平野　きぬよ

一般の部

選者吟

みはるかす山は幾重に秋澄めり　美代子